

球磨工 人権だより

7月号 No2 人権教育推進委員会

人権教育の係の井本です。今回は1学期に1年生で行った人権教育のLHRに関連して人権だよりを書きます。1年生は「居心地のよいクラスについて考えよう」というテーマで授業をしました。次の文章を読んでみて下さい。

ある日の昼休み、AさんとBさんがふざけながら教室に入ってきました。

Bさん (Aさんの頭をたたきながら)
「さっきの授業、あんな簡単な問題なのに答えられないの？」

Aさん 「えへへ。」

CさんとDさんは、いつもの二人のやりとりを笑いながら見ていました。

BさんはAさんの頭をたたきながら、なおもからかっています。Aさんは笑って応じながらお弁当箱を出しました。

Bさん 「おっ、今日の弁当も豪華だな。ソーセージくれよ。」

BさんはAさんの弁当箱から勝手にソーセージを取り、食べてしまいました。

Bさん 「そっちの卵焼きもオレ様に食べられたがってるぜ！しょうがないから、食べてやるよ！」

それを見ていたCさんは、大きな声で笑い出しました。それにつられて周りにいた人たちもクスクス笑っています。

Bさんは次々とAさんの弁当のおかずを食べたあげく、後ろの席で読書をしていたEさんに話しかけました。

Bさん 「おまえも食べたいだろ？味は保証しないけどな。」

Eさんは迷惑そうに顔をあげましたが、すぐにまた本を読み始めました。

Bさん 「ちえっ、うまくないから、Eは食べたくないってよ！」

そう言って、Bさんはどこかへ行ってしまいました。

この様子を見ていたDさんは、Aさんがかわいそうになり、Aさんに声をかけました。

Dさん 「Aさん大丈夫？」

Aさん 「別に。僕たち、ただ遊んでいるだけだから・・・」

Aさんはそう答えました。

● 5人の関係性は？クラスの雰囲気は？

授業でもいろんな意見がでました！

- ・AさんとBさんの関係やよくないよね・・・
- ・Aさん内心はとても傷ついている
- ・Cさんいじめを煽る傍観者になってる
- ・Bさんに注意できる人がいない、注意できる雰囲気ではない
- ・Eさんは無関心・・・
- ・DさんはAさんのことを気遣っている
- ・周りで笑っている人たちもよくない

みんなでどんな事例があるか、どのように対処したらいいかなど意見交換して、たくさんの気づきがありました。これからの生活に生かしていきたいです。

● 居心地のよいクラスになるために大切なことは？

- お互いの気持ちを尊重する。○相手の気持ちを考えた発言や行動。
- 雰囲気に流されないで、周囲が歯止めをかける。
- Aさんも助けをも求めるべき。助けに応じるクラスを作る。
- ルールや決まりを守る。いけないことはいけないと注意しあう。などなど・・・

授業の中で、とても大切な意見がたくさんでました。みんなで普段の生活から話し合ったことを実践できれば、球磨工業高校はみんなにとって「とても居心地のよい学校」になると思いました。しかし、私も経験がありますが普段の生活の中で、実践できないことがあります。自分に余裕がないとき、不安なとき、疲れているとき、つい相手の気持ちを考えない発言をしてしまったり・・・。私もいじめに荷担してしまったこともあるし、いじめられて辛い思いをしたこともあります。苦い思い出です。つい嫌なことを言ってしまっても、誰かがそれはダメだよと思いやりをもって注意してもらえる関係ができるといいですね。この関係はみんな協力しないと難しいです。でも、まずは自分がこの関係を意識して生活したいと思いました。(文責：井本)

最後は授業の感想の紹介です。

「いじり」が「いじめ」になるのは、周りの雰囲気やその人同士の関係性だと思いました。いやな思いをしている人がいるのに誰もその行為を止めようとしないう雰囲気や、お互いにいやと言えない関係性がよくないと思いました。私は身の周りでこのようなことがおきないように、いやな思いをする人がいたら助けたいし、嫌なことは嫌といえる強い人になってクラスの雰囲気を作っていきたいです。

休み時間や授業中に騒がしくて指示が通りにくいことがあった。このままではクラス目標の「全員が楽しく」が達成されないまま1年間があつという間に終わるかもしれない。少しずつでも改善してよりよいクラスにしていきたいです。

みんなが過ごしやすいクラスにするために相手のことを考えて発言したり、ダメなことを注意したりできるようにしたいです。また、人間は1人では生きられないので1人1人の個性を尊重し、家族や友達、地域の方々を大切にしていきたいです。